

タカネスイバ

Rumex alpestris Jacq. subsp. *lapponicus* (Hiitonen) Jalas
タデ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

生育地、個体数とも少ない。今のところ1山域で確認されているだけである。

分 布

北海道～本州（中部地方以北）に分布する。県内では大野市で確認される。

種の特徴

高山の水湿地に生える多年生草本。茎は高さ30～90cmになり、あまり分枝しない。葉は長楕円形～卵形、耳部は短く、有柄。花期は7～8月。

生育を脅かす要因

産地局限、自然遷移の進行等が生育を脅かす要因となる。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	

タカネナデシコ

Dianthus superbus L. var. *speciosus* Rehb.
ナデシコ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

産地局限。

分 布

北海道～本州（中部地方以北）に分布。県内では勝山市、大野市での記録がある。

種の特徴

カラナデシコの変種で山地～高山帯の草地やれき地に生える。高さ10～30cm。葉は線形～披針形で粉白色を帯びる。花は、7～9月に茎先端や上部の葉腋につき、紫紅色で5枚の花弁からなる。基本変種に比べ、苞は少なく2対で細長い、花弁の切れ込みはより深い。

生育を脅かす要因

踏圧、園芸採取。

参考文献 福井県植物研究会（1998）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
															○	○	

オオヤマフスマ

Moehringia lateriflora (L.) Fenzl
ナデシコ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】—

選定理由

産地が限られ、個体数も少ない。

分 布

北海道～九州に分布。県内では坂井市、大野市での記録がある。

種の特徴

落葉広葉樹二次林の明るい林床や草地に生える多年生草本。茎は高さ10～20cm、毛があり細く、分枝する。葉は広楕円形～倒披針形で対生し無柄、3脈が目立ち裏面脈上と葉縁に短毛がある。花期は6～8月、花は葉腋や茎頂に径1cm、花弁は5つで白色。

生育を脅かす要因

遷移進行、踏圧。

参考文献

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
											○					○	